



千坂校下 自主防災訓練

2021

概要版

自主防災会

千坂校下コミュニティ協議会



令和3年度 千坂校下自主防災訓練

コロナ禍における防災訓練

1. はじめに

町連・消防団・防災士からなる連絡調整会議は、令和3年度の自主防災訓練の内容について、4月以降、各種団体と協議、調整を進めてきた。

その結果、コロナ禍を考慮し、昨年と同様に通常より規模を縮小するとともに感染防止対策を十分に行い、実施することにした。

なお、金沢市地域が「コロナまん延防止重点措置」の適用を受けたことから、当初予定していた訓練実施日を延期することがあったが、当初予定どおりの訓練を実施することができ、また、今年度は、新たに防災士が各町会に出かけ、防災意識の啓発活動を行った。



連絡調整会議

新型コロナウイルス月毎陽性数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
石川県	585	1,257	180	1,175	2,149	597	118	6	6,067
金沢市	286	552	115	766	1,226	301	62	3	3,311
緊宣									
重措		5/16~	~6/13		8/2~31, 9/12, ~31				
備考	第4波			第5波	(2回延長あり)			制限解除	
日平均(県)	19	41	6	38	69	20	4	0	
日平均(市)	10	18	4	25	40	10	2	0	

重措：まん延防止重点措置

2. 訓練内容

(1) 町会への防災に関する啓発活動

防災に関心を持ち、防災意識の向上を目的として、創設した「千坂防災の日」7月18日(日)(7月の第3日曜日)に合わせて、防災士が中心(防災士24名、役員4名)となって各町会に出向き、地域の役員の方々と防災に関する意見交換やパトロールを行い、より地域に密着した防災意識の啓発活動を行った。

内容： ・防災倉庫の位置 ・危険箇所の確認 ・避難経路の確認
・1次避難場所の確認 ・マップに書かれている内容等の確認

等について町会役員と面談とパトロールを実施した。

なお、当初参加を予定していた消防団員9名は、地区の消防訓練と重なり、残念ながら参加できなかった。



町会役員と意見交換



合同パトロール



防災倉庫確認

(2) シェイクアウト訓練

8月22日(日)11時に防災訓練の一環として、校下3200世帯を対象とした千坂校下独自の一斉シェイクアウト訓練を実施した。

手軽に住民全員が参加できる一斉防災訓練をすることで、町民一人ひとりの防災訓練への参加意識の醸成及び地震発生時の防災能力をアップするために実施した。

訓練を周知するため

- (1) 全世帯に、日程や訓練内容が詳しく書かれた独自のリーフレットを配布
- (2) 当日に消防団が消防車のスピーカーを使って広報、金沢市同報防災無線で訓練の実施案の放送を流した。

シェイクアウトの基本行動は

- ① 指定された日時に
- ② 地震の揺れから身を守る安全行動を
- ③ 各人がいる場所で1分程度一斉におこなう。



(3) 安否確認・情報収集・情報伝達訓練

9月12日(日)7時～9時に、各町会の班長が各家庭を回り、避難カードを回収し、安否確認後、町会長が集計し災害本部へ報告する一連の訓練が実施された。

本来であれば災害時に、まず自分・家族の安全を確認後、隣近所の安否を確認し、正確な情報を把握し伝達するもので、この行動が自主防災の役割である自助・共助の第一歩となっており、重要な訓練の一つです。



各世帯でカードを玄関に張っておく



班長がカードを集計し、1時避難所の役員へ



町会長が集計し、災害本部に報告

(4) スキルアップ研修

9月19日(日)、26日(日)、公民館において、災害に関する知識を高め対応力アップを目指すスキルアップ研修を実施した。研修会には市より内水整備課、道路建設課、危機管理課、森林再生課から講師を招き、千坂校下からは120名が参加した。

研修内容は、「豪雨時の安全避難ガイド・水害ハザードマップ」「土砂災害避難地図について」「熊出没注意について」「正しい避難行動、避難所運営について」等の項目で行われた。

また、密を避けるため1研修30名の枠を設け、4回に分けて実施するとともに、コロナ問診票の提出、体温測定等の感染防止対策をしっかりと行った。

実施日

- ・令和3年9月19日(日) ①13時30分～ ②15時30分～
- ・令和3年9月26日(日) ①13時30分～ ②15時30分～

＊参加者の意見

- ・発令される「避難情報」の内容を少し理解できた。
- ・自分のいる場所が、危険な場所か安全な場所か、知ることが大切



(5) ハグ訓練(避難所運営ゲーム)

10月3日(日)、9時から11時に千坂公民館において、石川県防災士会から4名の講師を招き、千坂校下からは各種団体長、町会関係者、消防団員等の16名が参加して、ハグ訓練が開催された。

ハグ訓練とは、避難所における適切な配置、様々な出来事への対応を机上で模擬体験する訓練です。

今回は、熱のある方、子供連れ、ペット連れ等それぞれが抱える事情が書かれた避難者カードを渡され、体育館、ピロティに見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所でおきる様々な出来事にどう対応していけば良いのか、話し合いをしながら決めていった。

＊参加者の意見

- ・避難者全員が、避難所の美化など自ら参加し、協力し避難所運営をする大切さが理解できた。
- ・ペット連れ、介護犬連れ等の取扱いが少しわかった。
- ・色々聞きたい事があるので、機会があればもう1度参加したい。





(6) 応急処置・搬送・AED訓練

10月3日(日)9時～10時に千坂小学校の体育館において、講師に金沢西消防署の職員6名の方を招き、千坂コミュニティからは町会関係者、諸団体役員、消防団員、防災士等30名が参加して、応急処置・搬送・AED訓練の講習会が開催された。

密を避けるため、15人ずつ2組に分けるとともに、換気が十分にできるように下の窓を全て開け、出入口を全開にした。

* 参加者の意見

- ・分かりやすく、丁寧に説明していただき非常に良かった。
- ・自分の思っていたのが、違っていたのがわかって良かった。
- ・AEDは初めてだったので良かった。



(7) コロナ禍における避難所訓練

10月3日(日)10時～11時に千坂小学校の体育館において、千坂防災士のメンバーが講師となって避難所開設訓練が開催され、千坂コミュニティからは町会関係者、諸団体役員、消防団員、防災士等30名が参加した。

- ・感染防止防護服を身につけて、避難所入所時の体温測定や名簿作成などの模擬体験の実施
- ・簡易テントの組立
- ・実際にスケールを使って、どれだけのコロナ対応のスペースが確保できるかの確認等を研修した。
- ・ダンボールベッド作製と体験

* 参加者の意見

- ・避難所開設のマニュアル研修が実践的で良かった。
- ・意外と少ない人数しか入れないのに驚いた。
- ・訓練も〇〇の場合との説明が初めにあると良かった。





(8) 千坂小学校防災教室

11月5日（金）9時～12時に千坂小学校の体育館、ピロティで、小学校防災教室を開催した。

講習内容は、学年別に分かりやすいカリキュラムを組み、講師は千坂防災士8名が、アシスタントに市内10校下の防災士15名、千坂更正保護女性会8名が務めた。

学年別のカリキュラムや多くの他校下の防災士と連携した防災教室の開催は、県内では初めてと聞いています。

学年	カリキュラム	参加人数	場所
1年	防災紙芝居	92	体育館
2年	避難所開設と体験	91	ピロティ
3年	ダンボールベッド作成と体験	100	ピロティ
4年	持ち出し袋を準備しよう	95	体育館
5年	液状化ってなんだろう	79	ピロティ
6年	鳥の目・虫の目でマップを作ろう	101	体育館
合計		558	



* 参加者の意見

- ・椅子を利用したベッドが良かった。
- ・ダンボールベッドが面白かった。
- ・簡単にフェイスシールドが作れて一度、家でも作ってみたい。

(9) 千坂児童館防災教室

11月11日（木）16時～17時に、千坂児童館にて防災教室を開催しました。

1年生 ホール 2年生 和室 3年生 図書館と学年ごとに分かれ、防災かるたを実施しました。

学年別のかるた取りでは、のんびり屋さんの子どもにはハードルが高く、かるたが取れず泣き出してしまふ子どももいました。

防災士が何も言わなくても、グループの中で沢山かるたを取っている子どもが1回お休みしたり、取ったかるたをあげたりと子どもたちの優しい一面を見ることができました。最後に自由参加でホールにて、ジャンボかるた取りをしました。子どもたちは大喜びでした。



3. その他

(1) 自主防災会のロゴマークについて

地域の方々がさらに防災に関心を持ち、興味を持っていただけるように、ロゴマークを募集したところ、千坂校下内から43点の応募があり、10月27日に自主防災会役員、防災士、学識経験者等からなる21名の選考委員会で厳正に審査した結果、つぎのとおり入賞作品が決定した。

番号	表彰名	受賞者名	町会名
①	最優秀賞	岡田 佳歩	百坂町会
②	優秀賞	伊藤 美郁	柳橋町会
③		塚田 ひかり	千木親和町会
④		堀田 有紀	足田町会
⑤	佳作	荒井 栄一	宮保町会
⑥		当田 貞雄	荒屋団地町会
⑦		藤田 康隆・仁奈	横枕町会



①



②



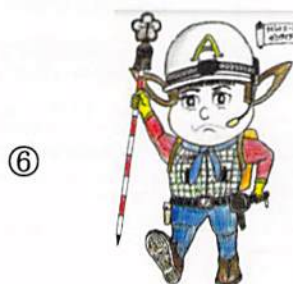
③



④



⑤



⑥



⑦

又、11月14日（日）に表彰式が行われたとともに、金沢コミュニティ防災士ネットワークの常任委員の瀬戸亮子氏が演題「頼まれごととは試されごと」で講演を行った。



・・・防災参考資料・・・

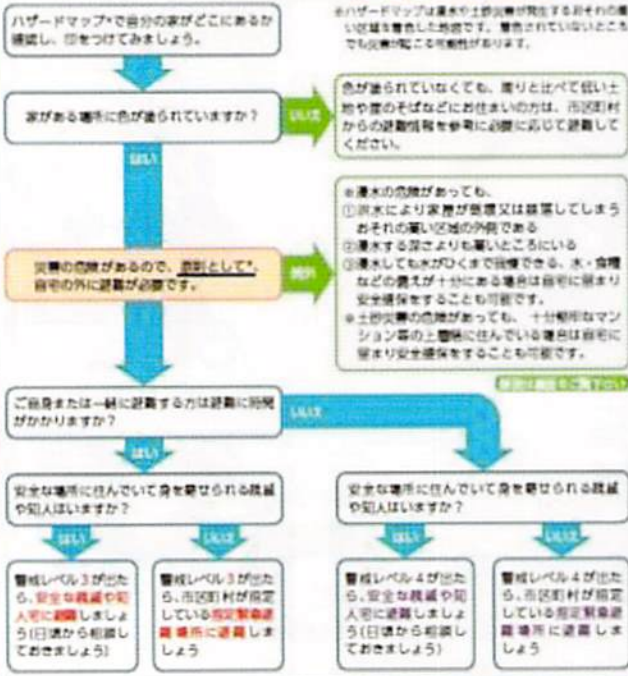
台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ずご確認ください**



避難行動判定フローの参考情報

ハザードマップの見方

必ず確認してください



ハザードマップの見方

もっと詳しく知りたい人向け



！警戒レベル3や4が出たら、危険な場所から避難しましょう

！「避難」とは「開」を「避」けることです
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません

！避難先は小中学校・公民館だけではありません
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう

※緊急時に身を寄せる避難先は、市区町村が指定する「指定緊急避難場所」や、安全な親戚・知人宅など様々です。避難からどこに避難するか決めておきましょう。

※「指定緊急避難場所」は、災害の発生ごとに安全な場所が指定されています。（小中学校、公民館など）

※災害が来るといった時に、自宅が被災し、通行できない場合には、しばらく避難生活を送るため、「指定避難場所」に行きましょう。

わからないことがありましたらお住まいの市区町村にお問い合わせください。
（参考）内閣府防災ホームページ「令和5年台風19号等による避難に関するワーキンググループ」
<http://www.bousai.go.jp/tisuisai/typhoonworking/index.html>